

## 学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
美術	美術1	1	2	「美術1」 酒井 忠康 他26名（光村）	
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</li> <li>・与えられた課題に向かって努力し、主体的に行動に移せる能力と精神を養う。</li> <li>・様々な道具の使い方や技法について学習し、制作活動に生かせる知識を養う。</li> </ul>				
評価の観点	知識・技能	材料や用具の特性を活かした表現方法を工夫して制作できたか。対象をよく観察、またはイメージ化し、造形的な視点を養うことができたか。			
	思考・判断・表現	制作意図に応じて創意工夫し、よりよい方法・作品になるようにを模索したか。			
	主体的に学習に取り組む態度	美術の意義、美術作品のよさや美しさを理解し、心豊かな生活や社会を創造する態度を身につけることができたか。			
学習の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えが表現できるよう構想を練り、形態や色彩を創意工夫することができたか。</li> <li>・また作品鑑賞では、自分の感じたことを言語化することができたか。</li> </ul>				
学期	単元	学習内容			学習の目標
1 学期	オリエンテーション	・今までの振り返り、高校の美術Iのイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて考える。			
	デザイン [ロゴマークの制作]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前ロゴタイプとマークをデザインする。</li> <li>・ロゴマークデザインの社会における役割を理解する。</li> <li>・自分の性格や特徴、名前の意味などから主題を生成し、瞬時に伝える形や色彩などの効果を考え、創造的な表現の構想を練る。</li> <li>・アイデアスケッチから、ロゴタイプとマークの下図を描く。</li> <li>・配色の効果を考え、着色する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい目的や内容などを基に、形や色彩などの伝達の効果を考え、構想を練る。</li> <li>・形や色彩などの効果、伝えたいイメージを捉え、創造的に表す。</li> <li>・伝えたい内容をロゴタイプやマークに表す創造活動に、主体的に取り組む。</li> </ul>
	鑑賞	・他者の作品からよい部分を学習し、今後役に立つ想像力を養う。			・ロゴマークのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組む。
	映像メディア表現 [写真で表す]	・校内で主題や表したいイメージなどを考えながら写真を撮影する。			・被写体の印象や瞬時の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構図を練る。
	鑑賞	・他者の作品からよい部分を学習し、今後役に立つ想像力を養う。			・写真表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
2 学期	彫刻 [野菜・果物の模刻]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな角度からモチーフをよく観察し、全体の形態や構成、バランスを確認しながら粘土を成形する。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、量感や質感などを表し、仕上げをする。</li> <li>・モチーフをよく観察し、味や香りなどをイメージし着色する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や質感、量感、重心やバランス、全体のイメージなどを捉え、粘土などの材料の特性を生かして表すことができる。</li> <li>・粘土で表す創造活動に、主体的に取り組む。</li> </ul>
	鑑賞	・他者の作品からよい部分を学習し、今後役に立つ想像力を養う。			・他者の主題と表現意図や工夫の相違点を確認する。
	水彩画 [ポストカードの制作]	・水彩のいろいろな技法を習得し、表現の幅を広げることで描くことを楽しむ。			・形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
	鑑賞	・他者の作品からよい部分を学習し、今後役に立つ想像力を養う。			・形や色彩のよさや美しさ、面白さなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
3 学期	絵画（色鉛筆画） [身近なものを描く]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフをしっかり観察して、形態と色などの特徴を捉えて大切にしている気持ちを表すための構想を練りながら、表現方法を工夫して描く。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図に応じて色鉛筆の特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫する。</li> <li>・身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、質感などを考え創造的な構想を練る。</li> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい身近なものの特徴や美しさなどについて考える。</li> </ul>
	鑑賞	・他者の作品からよい部分を学習し、今後役に立つ想像力を養う。			・形や色彩のよさや美しさ、面白さなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。